

令和 2 年度

入 学 者 選 抜 に 関 す る 要 項

一般入試（前期日程・後期日程）と推薦入試の出願方法は「インターネットによる出願登録」と書類の「郵送」が必要となります。

※従来までの紙の願書は廃止します。



国立大学法人

京都教育大学

KYOTO UNIVERSITY OF EDUCATION

I. 本学の目的

京都教育大学は、学芸についての深い研究と指導とをなし、教養高き人としての知識、情操、態度を養い、併せて教育者として必要な能力を得させることを目的とする。

II. 教育学部の教育目的

教養高き人としての知識、情操、態度を育成し、学校教育、社会教育、生涯学習等の広い教育分野で地域社会に貢献できる人材を養成することを目指す。

アドミッション・ポリシー（入学受入れの方針）

京都教育大学は教員養成大学として以下のような皆さんの入学を期待しています。

1. 倫理観と人権意識の大切さを認識し、将来は教師として地域や社会に貢献しようとする情熱と志を持つ人。
2. 子どもの成長に関わることに喜びを感じ、子どもを理解するために、教職に必要な知識や技能を身につける努力を惜しまない人。
3. 幅広い分野の知識・技能を持つとともに、志望する専攻領域と関連の深い教科に関して確かな学力や実技能力を有し、課題を深く思考できる人。
4. 教育の基礎となるさまざまな科学、文化、芸術、スポーツなどに関心を持って、広い視野で思考し、表現しようとする人。
5. 友人や周りの人たちと協働して学んでいく主体性と協調性を備えている人。

入学選抜の基本方針

学校教員を志望するすぐれた学生を受け入れ、広く地域の教育に貢献するため、京都府内の高等学校に在籍する者を対象に小論文と面接で選考する地域指定推薦入試、地域の制限なしに主として小論文と面接で選考する推薦入試、大学入試センター試験と個別学力検査等を課す一般入試・前期日程及び後期日程を行います。

アドミッション・ポリシーに示している「教師として地域や社会に貢献しようとする情熱と志」、「子どもを理解するために努力しようとする姿勢」、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性と協調性」等を総合的に判断し、入学者を選抜します。

各入試区分における方針は、以下のとおりです（各募集区分の詳細については募集要項を参照してください）。

地域指定推薦入試

京都の教員養成大学として地域に貢献するため、出願要件Aでは京都府北部地域の高等学校に在籍する者、出願要件Bでは京都府北部地域を除く京都府内の高等学校に在籍する者を対象にしています。

幅広い分野の「知識・技能」を有しているかを主に調査書で、課題を深く思考できる「思考力・判断力・表現力」を主に小論文で、友人や周りの人たちと協働して学んでいく「主体性と協調性」を調査書・面接等で確かめます。

また、「教師として地域や社会に貢献しようとする情熱と志」を確かめるため、京都府の小学校教員を志望することを保証する学校長による推薦書及び教員志望動機書の提出を求めます。調査書、教員志望動機書に基づく面接では、「教師として地域や社会に貢献しようとする情熱と志」に加え、「子どもを理解するために、教職に必要な知識や技能を身につける努力」ができるかどうか評価します。

推薦入試

幅広い分野の「知識・技能」を有しているかを主に調査書で、課題を深く思考できる「思考力・判断力・表現力」を主に小論文で、友人や周りの人たちと協働して学んでいく「主体性と協調性」を調査書・面接等で確かめます。

また、「教師として地域や社会に貢献しようとする情熱と志」を確かめるため、志望する専攻ごとに定める学校種の教員志望であることを保証する学校長による推薦書及び教員志望動機書の提出を求めます。調査書、教員志望動機書に基づく面接では、「教師として地域や社会に貢献しようとする情熱と志」に加え、「子どもを理解するために、教職に必要な知識や技能を身につける努力」ができるかどうか評価します。

一般入試（前期日程）

幅広い分野の「知識・技能」を有しているかを主に大学入試センター試験と調査書で、課題を深く思考できる「思考力・判断力・表現力」を主に個別学力検査で、友人や周りの人たちと協働して学んでいく「主体性と協調性」を調査書・面接等で確かめます。

また、調査書、教員志望動機書に基づく面接では、「教師として地域や社会に貢献しようとする情熱と志」に加え、「子どもを理解するために、教職に必要な知識や技能を身につける努力」ができるかどうか評価します。

一般入試（後期日程）

幅広い分野の「知識・技能」を有しているかを主に大学入試センター試験と調査書で、課題を深く思考できる「思考力・判断力・表現力」を主に小論文で、友人や周りの人たちと協働して学んでいく「主体性と協調性」を調査書・面接等で確かめます。

また、調査書、教員志望動機書に基づく面接では、「教師として地域や社会に貢献しようとする情熱と志」に加え、「子どもを理解するために、教職に必要な知識や技能を身につける努力」ができるかどうか評価します。

目 次

京都教育大学教育学部 入学者選抜に関する要項

	ページ
I. 募 集 人 員	1
II. 入学者選抜方法	1
III. 一般入試（個別学力検査等による選抜）	
1. 出願資格	2
2. 選抜方法等	2
令和2年度入試での変更点について	3
3. 障がい等のある入学志願者の事前相談について	4
4. 出願期間	4
5. 出願について	4
6. 選抜期日	4
7. 合格発表日	4
令和2年度京都教育大学教育学部一般入試の実施教科・科目等について	5
IV. 特別入試	
○推薦入試	13
1. 出願資格及び要件	13
2. 選抜方法等	15
3. 障がい等のある入学志願者の事前相談について	16
4. 出願期間	16
5. 出願について	16
6. 選抜期日	16
7. 合格発表日	16
○地域指定推薦入試	17
1. 出願資格及び要件	17
2. 選抜方法等	17
3. 障がい等のある入学志願者の事前相談について	18
4. 出願期間	18
5. 出願について	18
6. 選抜期日	18
7. 合格発表日	18
平成31年度 京都教育大学教育学部入学者選抜実施状況	19
令和2年度学生募集要項等の公表について	23

京 都 教 育 大 学 教 育 学 部

令和２年度 入学者選抜に関する要項

I. 募集人員

教育学部

学校教育教員養成課程 ３００名

募集人員の内訳は次のとおりである。

募 集 区 分	入学定員	募集人員			
		一般入試		特別入試	
		前期日程	後期日程	推薦入試	※地域指定推薦入試
教育学専攻	３００	１６	—	６	２０
幼児教育専攻		９	—	４	
発達障害教育専攻		１０	—	４	
国語領域専攻		１１	４	４	
社会領域専攻		１８	—	１２	
英語領域専攻		１６	４	５	
数学領域専攻		１７	５	７	
理科領域専攻		２１	７	１３	
技術領域専攻		８	—	５	
家庭領域専攻		１１	—	５	
美術領域専攻（美術分野）		９	—	４	
（書道分野）		３	—	—	
音楽領域専攻		８	—	４	
体育領域専攻		１５	５	１０	
合 計	３００	１７２	２５	８３	２０

※地域指定推薦入試は、京都府内の高等学校等を対象とした推薦入試（詳細は１７～１８ページ参照）。

II. 入学者選抜方法

入学者の選抜は、次の方法により実施する。

１．一般入試（個別学力検査等による選抜）

令和２年度大学入試センター試験を課し、分離分割方式による個別学力検査等で選抜を行う。

２．特別入試（推薦入試、地域指定推薦入試）

大学入試センター試験を課さない推薦入試、地域指定推薦入試を実施する。

（詳細は、１３～１８ページに掲載）

Ⅲ. 一般入試（個別学力検査等による選抜）

1. 出 願 資 格

本学が指定した令和2年度大学入試センター試験の教科・科目（5ページから12ページに掲載）を受験した者で、次のいずれかに該当する者及び令和2年3月31日までに該当見込みの者とする。

- （1）高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者
- （2）通常の課程による12年の学校教育を修了した者
- （3）学校教育法施行規則第150条（第6号を除く。）の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者

ただし、学校教育法施行規則第150条第7号による出願を希望する者は、入学資格（出願資格）審査を受け、出願資格の認定を得なければならない。

<入学資格（出願資格）審査の申請手続き>

①審査の申請書類（申請者の学習歴により異なる場合がある。）

- ・入学資格（出願資格）審査申請書（本学所定用紙 ※事前に請求すること）
- ・最終学校等の卒業（見込）証明書
- ・最終学校等の成績証明書
- ・最終学校等の教育課程表
- ・最終学校等の校則等
- ・その他本学が必要と認めた書類（審査申請受付後、該当者には別途連絡する。）

②審査の方法

書類審査。ただし、書類審査で判断できない場合は、本人に別途通知の上、審査を行う。

③審査申請期限

令和元年8月30日（金）まで

受付時間は、土、日曜日及び祝日を除く、9時～12時30分、13時30分～17時。

郵送により申請を行う場合は、書留郵便で8月30日（金）までに必着のこと。

ただし、大学入試センター試験を受験した者が、志望大学を変更して、本学に入学資格（出願資格）審査の申請を行う場合は、令和2年1月21日（火）までとする。

④審査申請書類の提出先

本学 入試課 入試グループ

⑤審査結果の通知

文書により本人に通知する。

2. 選 抜 方 法 等

入学者の選抜は、令和2年度大学入試センター試験の成績並びに本学が行う令和2年度個別学力検査等の成績及び調査書等の内容を総合して判定する。

大学入試センター試験の受験を要する教科・科目は、5～12ページの「大学入試センター試験の利用教科・科目名」欄のとおり。

また、令和2年度入試での変更点は、3ページの「令和2年度入試での変更点について」のとおり。

令和2年度入試での変更点について

(1) 募集人員の変更

一般入試（前期日程）

数学領域専攻

15名→17名

音楽領域専攻

7名→8名

一般入試（後期日程）

数学領域専攻

7名→5名

推薦入試

音楽領域専攻

5名→4名

3. 障がい等のある入学志願者の事前相談について

障がい等のある入学志願者で、受験上及び修学上の配慮を必要とする者は、令和元年12月16日（月）までに、本学入試課入試グループへ申し出ること。

なお、12月17日以降であっても、その状況によっては考慮できる場合があるので、申し出ること。

4. 出 願 期 間

令和2年1月27日（月）から2月5日（水）まで

5. 出願について

（1）試験日程グループ間の併願について

国公立大学の試験日程グループ間の併願については、「前期－前期」、「後期－後期」の組み合わせで併願することはできないので注意すること。

（2）本学の併願について

本学の「前期日程」に出願する者が、本学の「後期日程」に出願してもよい。

6. 選 抜 期 日

前期日程

募 集 区 分	日 程
教育学専攻、幼児教育専攻、発達障害教育専攻、 国語領域専攻、社会領域専攻、英語領域専攻、 数学領域専攻、理科領域専攻、技術領域専攻、 家庭領域専攻	2月25日（火）
美術領域専攻（美術分野、書道分野）、 音楽領域専攻、体育領域専攻	2月26日（水）

後期日程

募 集 区 分	日 程
国語領域専攻、英語領域専攻、数学領域専攻、 理科領域専攻、体育領域専攻	3月12日（木）

7. 合 格 発 表 日

前期日程：令和2年3月 7日（土）（予定）

後期日程：令和2年3月20日（金）（予定）

令和２年度 京都教育大学教育学部一般入試

＜全募集区分に共通の注意事項＞

大学入試センター試験については、下記のとおりとする。

(１) 複数の教科・科目から選択となっている場合で、複数の教科・科目を受験している場合に合否判定に利用する科目の成績は、次のとおりとする。

- ① 「地理歴史・公民」から１科目選択となっている場合は、「第１解答科目」の成績を利用する。
- ② 「理科」から１科目選択となっている場合は、「第１解答科目」の成績を利用する。
ただし、「理科」の「基礎を付した科目」を受験している場合は、「基礎を付した科目」及び「基礎を付さない科目」のいずれか高得点の科目の成績を利用する。
- ③ 「地理歴史・公民」、「理科」から１科目選択となっている場合は、いずれか高得点の「第１解答科目」の成績を利用する。
ただし、「理科」の「基礎を付した科目」を受験している場合は、「地理歴史・公民」の「第１解答科目」及び「理科」のいずれか高得点の科目の成績を利用する。
- ④ 「地理歴史・公民」、「理科」から３科目選択となっている場合は、それぞれの「第１解答科目」及びいずれか高得点の「第２解答科目」の成績を利用する。
ただし、「理科」の「基礎を付した科目」を受験している場合は、「地理歴史・公民」の「第１解答科目」の成績と「地理歴史・公民」の「第２解答科目」及び「理科」のうち高得点の２科目の成績を利用する。

学部・入学定員 募集区分・募集人員		学力検査等の 区分・日程	大学入試センター試験の 利用教科・科目名		個別学力検査等	
			教科	科目名等	教科等	科目名等
教育学部 300人 前期 172 後期 25 その他 103	教育学専攻 前期 16	前期 2月 25日	国 地歴・ 公民 数 理 外	国語 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B, 現社, 倫, 政経, 倫政経から2 数Ⅰ, 数Ⅰ・数Aから1と 数Ⅱ, 数Ⅱ・数B, 簿, 情報から1 物, 化, 生, 地学から1 (※) 英語 〔6教科 (又は5教科) 7科目〕	国 その他	国語総合 小論文
	幼児教育専攻 前期 9		国 地歴・ 公民 数 理 外	国語 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B, 現社, 倫, 政経, 倫政経から2 数Ⅰ, 数Ⅰ・数Aから1と 数Ⅱ, 数Ⅱ・数B, 簿, 情報から1 物, 化, 生, 地学から1 (※) 英語 〔6教科 (又は5教科) 7科目〕	国 その他	国語総合 面接
	発達障害教育専攻 前期 10		国 地歴・ 公民 数 理 外	国語 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B, 現社, 倫, 政経, 倫政経から2 数Ⅰ, 数Ⅰ・数Aから1と 数Ⅱ, 数Ⅱ・数B, 簿, 情報から1 物, 化, 生, 地学から1 (※) 英語 〔6教科 (又は5教科) 7科目〕	国 その他	国語総合 面接

(※) 物理、化学、生物、地学の１の代わりに、物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎から２を充てることも可。
この場合「基礎を付した科目」２科目を「基礎を付さない科目」１科目として取り扱う。

の実施教科・科目等について

(2) 大学入試センターにリスニングテストの免除を認められている場合は、筆記試験（200点満点）の得点を250点満点に換算し利用する。なお、免除を認められた者以外でリスニングテストを受験しなかった者は、英語を受験しなかったものとして取り扱う。

大 学 入 試 セ ン タ ー 試 験 ・ 個 別 学 力 検 査 等 の 配 点									
試 験 の 区 分	国 語	地歴・公民	数 学	理 科	外国語	小論文	実 技	面 接	配 点 計
センター試験	200	200	200	100	250				950
個別学力検査	300					100			400
計	500	200	200	100	250	100			1350
センター試験	200	200	200	100	250				950
個別学力検査	200							200	400
計	400	200	200	100	250			200	1350
センター試験	200	200	200	100	250				950
個別学力検査	200							200	400
計	400	200	200	100	250			200	1350

学部・募集区分・募集人員		学力検査等の区分・日程	大学入試センター試験の 利用教科・科目名		個別学力検査等	
					教科等	科目名等
			教科	科目名等		
教育学部	国語領域専攻	前期 2月25日	国 地歴・ 公民 数 理 外	国語 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B, 現社, 倫, 政経, 倫政経から2 数I, 数I・数Aから1と 数II, 数II・数B, 簿, 情報から1 物, 化, 生, 地学から1 (※) 英語 [6教科 (又は5教科) 7科目]	国 その他	国語総合 面接
		後期 3月12日	国 地歴・ 公民 数 理 外	国語 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B, 現社, 倫, 政経, 倫政経から2 数I, 数I・数Aから1と 数II, 数II・数B, 簿, 情報から1 物, 化, 生, 地学から1 (※) 英語 [6教科 (又は5教科) 7科目]	その他	小論文 面接
	社会領域専攻	前期 2月25日	国 地歴・ 公民 数 理 外	国語 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B, 現社, 倫, 政経, 倫政経から2 数I, 数I・数Aから1と 数II, 数II・数B, 簿, 情報から1 物, 化, 生, 地学から1 (※) 英語 [6教科 (又は5教科) 7科目]	国 その他	国語総合 面接
		後期 3月12日	国 地歴・ 公民 数 理 外	国語 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B, 現社, 倫, 政経, 倫政経から2 数I, 数I・数Aから1と 数II, 数II・数B, 簿, 情報から1 物, 化, 生, 地学から1 (※) 英語 [6教科 (又は5教科) 7科目]	その他	小論文 面接
	英語領域専攻	前期 2月25日	国 地歴・ 公民 数 理 外	国語 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B, 現社, 倫, 政経, 倫政経から2 数I, 数I・数Aから1と 数II, 数II・数B, 簿, 情報から1 物, 化, 生, 地学から1 (※) 英語 [6教科 (又は5教科) 7科目]	外	英語 (コミュニケーション英語 I・コミュニケーション英語 II・コミュニケーション英語 III・英語表現I・英語表現II)
		後期 3月12日	国 地歴・ 公民 数 理 外	国語 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B, 現社, 倫, 政経, 倫政経から2 数I, 数I・数Aから1と 数II, 数II・数B, 簿, 情報から1 物, 化, 生, 地学から1 (※) 英語 [6教科 (又は5教科) 7科目]	その他	小論文 面接

(※)物理、化学、生物、地学の1の代わりに、物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎から2を充てることも可。
この場合「基礎を付した科目」2科目を「基礎を付さない科目」1科目として取り扱う。

大 学 入 試 セ ン タ ー 試 験 ・ 個 別 学 力 検 査 等 の 配 点									
試 験 の 区 分	国 語	地歴・公民	数 学	理 科	外国語	小論文	実 技	面 接	配 合 点 計
センター試験	200	200	200	100	250				950
個別学力検査	300							100	400
計	500	200	200	100	250			100	1350
センター試験	200	200	200	100	250				950
個別学力検査						300		300	600
計	200	200	200	100	250	300		300	1550
センター試験	200	200	200	100	250				950
個別学力検査	200							200	400
計	400	200	200	100	250			200	1350
センター試験	200	200	200	100	250				950
個別学力検査					400				400
計	200	200	200	100	650				1350
センター試験	200	200	200	100	250				950
個別学力検査						200		200	400
計	200	200	200	100	250	200		200	1350

学部・募集区分・募集人員		学力検査等の区分・日程	大学入試センター試験の 利用教科・科目名		個別学力検査等	
			教科	科目名等	教科等	科目名等
教育学部	数学領域専攻	前期 2月25日	国 地歴・ 公民 数 理 外	国語 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B, 現社, 倫, 政経, 倫政経から1 数Ⅰ, 数Ⅰ・数Aから1と 数Ⅱ, 数Ⅱ・数B, 簿, 情報から1 物, 化, 生, 地学から2 (※) 英語 [5教科7科目]	数 理	数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B・数Ⅲ 物基・物, 化基・化, 生基・生, 地基・地学から1 (数B: 数列, ベクトル)
		後期 3月12日	国 地歴・ 公民 数 理 外	国語 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B, 現社, 倫, 政経, 倫政経から1 数Ⅰ, 数Ⅰ・数Aから1と 数Ⅱ, 数Ⅱ・数B, 簿, 情報から1 物, 化, 生, 地学から2 (※) 英語 [5教科7科目]	そ 他	小論文 面接
	理科領域専攻	前期 2月25日	国 地歴・ 公民 数 理 外	国語 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B, 現社, 倫, 政経, 倫政経から1 数Ⅰ, 数Ⅰ・数Aから1と 数Ⅱ, 数Ⅱ・数B, 簿, 情報から1 物, 化, 生, 地学から2 (※) 英語 [5教科7科目]	数 理	数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B・数Ⅲ(*) 物基・物, 化基・化, 生基・生, 地基・地学から1 (数B: 数列, ベクトル) (*)数Ⅲ: 選択問題の設定等により, 数Ⅲを履修していない受験生に 配慮した出題を行う。
		後期 3月12日	国 地歴・ 公民 数 理 外	国語 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B, 現社, 倫, 政経, 倫政経から1 数Ⅰ, 数Ⅰ・数Aから1と 数Ⅱ, 数Ⅱ・数B, 簿, 情報から1 物, 化, 生, 地学から2 (※) 英語 [5教科7科目]	そ 他	小論文 面接
	技術領域専攻	前期 2月25日	国 地歴・ 公民 理 数 外	国語 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B, 現社, 倫, 政経, 倫政経 物, 化, 生, 地学 (※) } から3 数Ⅰ, 数Ⅰ・数Aから1と 数Ⅱ, 数Ⅱ・数B, 簿, 情報から1 英語 [6教科 (又は5教科) 7科目]	国 数 理 そ 他	国語総合 数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B・数Ⅲ(*) } から1教科 物基・物, 化基・化, 生基・生, 地基・地学から1 } 面接 (数B: 数列, ベクトル) (*)数Ⅲ: 選択問題の設定等により, 数Ⅲを履修していない受験生に 配慮した出題を行う。

(※) 物理、化学、生物、地学の1の代わりに、物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎から2を充てることも可。
 この場合「基礎を付した科目」2科目を「基礎を付さない科目」1科目として取り扱う。
 なお、同一名称を含む科目の選択を認める。(例: (物理基礎、生物基礎) + (物理) を可とする。)

大 学 入 試 セ ン タ ー 試 験 ・ 個 別 学 力 検 査 等 の 配 点									
試 験 の 区 分	国 語	地歴・公民	数 学	理 科	外国語	小論文	実 技	面 接	配 点 計
センター試験	200	100	200	200	250				950
個別学力検査			200	200					400
計	200	100	400	400	250				1350
センター試験	200	100	200	200	250				950
個別学力検査						200		100	300
計	200	100	200	200	250	200		100	1250
センター試験	200	100	200	200	250				950
個別学力検査			200	200					400
計	200	100	400	400	250				1350
センター試験	200	100	200	200	250				950
個別学力検査						200		200	400
計	200	100	200	200	250	200		200	1350
センター試験	200	100＋ ★100	200	100＋ ★100	250				950
個別学力検査	★300		★300	★300				100	400
計	200 ＋ ★300	100＋ ★100	200 ＋ ★300	100＋ ★100 ＋ ★300	250			100	1350

【大学入試センター試験・個別学力検査等の配点】欄
★印は、選択教科（1教科）の配点を示す。

学部・募集区分・募集人員		学力検査等の区分・日程	大学入試センター試験の 利用教科・科目名		個別学力検査等	
			教科	科目名等	教科等	科目名等
教育学部	家庭領域専攻	前期 2月25日	国 地歴・ 公民 理 数 外	国語 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B, 現社, 倫, 政経, 倫政経 物, 化, 生, 地学 (※1) 数Ⅰ, 数Ⅰ・数Aから1と 数Ⅱ, 数Ⅱ・数B, 簿, 情報から1 英語 [6教科 (又は5教科) 7科目]	国 その他	国語総合 面接
	美術領域専攻 (美術分野) 前期 9 (書道分野) 前期 3	前期 2月26日	国 地歴・ 公民 数 理 外	国語 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B, 現社, 倫, 政経, 倫政経から1 数Ⅰ, 数Ⅰ・数Aから1または 数Ⅱ, 数Ⅱ・数B, 簿, 情報から1 (※3) 物, 化, 生, 地学から1 (※2) 英語 [5教科5科目]	その他	実技検査
	音楽領域専攻		国 地歴・ 公民 数 理 外	国語 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B, 現社, 倫, 政経, 倫政経から1 数Ⅰ, 数Ⅰ・数Aから1と 数Ⅱ, 数Ⅱ・数B, 簿, 情報から1 物, 化, 生, 地学から1 (※2) 英語 [5教科6科目]	その他	実技検査 面接
	体育領域専攻	前期 2月26日	国 地歴・ 公民 数 理 外	国語 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B, 現社, 倫, 政経, 倫政経から1 数Ⅰ, 数Ⅰ・数Aから1と 数Ⅱ, 数Ⅱ・数B, 簿, 情報から1 物, 化, 生, 地学から1 (※2) 英語 [5教科6科目]	その他	実技検査 小論文
	後期 5	後期 3月12日	国 地歴・ 公民 理 数 外	国語 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B, 現社, 倫, 政経, 倫政経 物, 化, 生, 地学 (※2) 数Ⅰ, 数Ⅰ・数Aから1と 数Ⅱ, 数Ⅱ・数B, 簿, 情報から1 英語 [4教科5科目]	その他	実技検査 小論文

(※1) 物理、化学、生物、地学の1の代わりに、物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎から2を充てることも可。
 この場合「基礎を付した科目」2科目を「基礎を付さない科目」1科目として取り扱う。
 なお、同一名称を含む科目の選択を認める。(例：(物理基礎、生物基礎) + (物理) を可とする。)

(※2) 物理、化学、生物、地学の1の代わりに、物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎から2を充てることも可。
 この場合「基礎を付した科目」2科目を「基礎を付さない科目」1科目として取り扱う。

(※3) 美術領域専攻の数学は、いずれか高得点の科目の成績を利用する。

大 学 入 試 セ ン タ ー 試 験 ・ 個 別 学 力 検 査 等 の 配 点									
試 験 の 区 分	国 語	地歴・公民	数 学	理 科	外国語	小論文	実 技	面 接	配 点 計
センター試験	200	100+ ★100	200	100+ ★100	250				950
個別学力検査	200							200	400
計	400	100+ ★100	200	100+ ★100	250			200	1350
センター試験	200	100	100	100	250				750
個別学力検査							600		600
計	200	100	100	100	250		600		1350
センター試験	200	100	200	100	250				850
個別学力検査							300	100	400
計	200	100	200	100	250		300	100	1250
センター試験	200	100	200	100	250				850
個別学力検査						100	400		500
計	200	100	200	100	250	100	400		1350
センター試験	200	★200	200	★200	250				850
個別学力検査						100	400		500
計	200	★200	200	★200	250	100	400		1350

【大学入試センター試験・個別学力検査等の配点】欄
★印は、選択教科（1教科）の配点を示す。

Ⅳ. 特別入試

○ 推薦入試

高等学校、中等教育学校、高等部を置く特別支援学校、文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設（以下、「高等学校等」という。）を令和２年３月に卒業見込みの者及び学校教育法施行規則第９３条第３項の規定に基づき平成３１年４月１日から令和２年３月３１日までに高等学校等を卒業又は卒業見込みの者で、特に本学への入学を希望し、学業成績、人物が共に優れ、出身学校長が責任をもって推薦できる者を対象として、入学定員の一部について、次のとおり大学入試センター試験及び個別学力検査を免除して推薦入試を実施する。

１. 出願資格及び要件

- ①高等学校等を令和２年３月に卒業見込みの者及び学校教育法施行規則第９３条第３項の規定に基づき平成３１年４月１日から令和２年３月３１日までに高等学校等を卒業又は卒業見込みの者
- ②出身学校長が責任をもって推薦できる者
- ③合格した場合、入学することを確約できる者

上記の出願資格及び要件を全て満たし、かつ募集区分毎の出願資格及び要件を全て満たしている者。

募 集 区 分	募集人員	出願資格及び要件
教育学専攻	6	１．教育学及び心理学に強い関心を持ち、同分野の専門的知識を活かして、将来、 小学校教員 になろうとする者 ２．調査書の学業成績の全体の評定平均値が ４.０ 以上の者 ＊各高等学校等からの推薦人数は、１校につき１名とする。
幼児教育専攻	4	１．幼児教育に強い関心を持ち、同分野の専門的知識を活かして、将来、 幼稚園教員 になろうとする者 ２．調査書の学業成績の全体の評定平均値が ４.０ 以上の者 ＊各高等学校等からの推薦人数は、１校につき１名とする。
発達障害教育専攻	4	１．障害児教育に強い関心を持ち、同分野の専門的知識を活かして、将来、 特別支援学校教員 もしくは 小学校教員 になろうとする者 ２．調査書の学業成績の全体の評定平均値が ４.０ 以上の者 ＊各高等学校等からの推薦人数は、１校につき１名とする。
国語領域専攻	4	１．国語に強い関心を持ち、同分野の専門的知識を活かして、将来、 小学校教員 になろうとする者 ２．調査書の学業成績の全体の評定平均値が ４.２ 以上の者 ＊各高等学校等からの推薦人数は、１校につき１名とする。
社会領域専攻	1 2	１．社会科に強い関心を持ち、同分野の専門的知識を活かして、将来、 小学校教員 になろうとする者 ２．調査書の学業成績の全体の評定平均値が ４.０ 以上の者 ＊各高等学校等からの推薦人数は、１校につき１名とする。

募 集 区 分	募集人員	出願資格及び要件
英語領域専攻	5	1. 英語に強い関心を持ち、同分野の専門的知識を活かして、将来、 小学校教員 もしくは 中学校教員 になろうとする者 2. 調査書の学業成績の全体の評定平均値が 4.2 以上の者 ＊各高等学校等からの推薦人数は、1校につき1名とする。
数学領域専攻	7	1. 数学（算数）に強い関心を持ち、同分野の専門的知識を活かして、将来、 小学校教員 になろうとする者 2. 調査書の学業成績の全体の評定平均値が 4.0 以上の者 ＊各高等学校等からの推薦人数は、1校につき1名とする。
理科領域専攻	13	1. 理科に強い関心を持ち、同分野の専門的知識を活かして、将来、 小学校教員 になろうとする者 2. 調査書の学業成績の全体の評定平均値が 4.0 以上の者 ＊各高等学校等からの推薦人数は、1校につき1名とする。
技術領域専攻	A入試 3 B入試 2	1. 次のいずれかに該当する者 A入試：工業・農業などの産業分野の教育及び研究に強い関心を持ち、同分野の専門的知識を活かして、将来、 中学校教員 等になろうとする者 B入試：もの作りや情報の活用などに強い関心を持ち、同分野の専門的知識を活かして、将来、 小学校教員 になろうとする者 2. 出願できる高等学校等 A入試 対象となるのは以下に該当する者 ・工業高等学校に在籍する者 ・農業高等学校に在籍する者 ・高等学校において、専門教育に関する教科「工業」及び「農業」に含まれる科目の単位を25単位以上履修した者 B入試 対象となるのは上記A入試の対象外の高等学校等（普通科を含む。）に在籍する者 3. 調査書の学業成績の全体の評定平均値がA入試は 4.2 以上、B入試は 4.0 以上の者 ＊各高等学校等からの推薦人数は、1校につき1名とする。
家庭領域専攻	5	1. 家庭科に強い関心を持ち、同分野の専門的知識を活かして、将来、 小学校教員 になろうとする者 2. 調査書の学業成績の全体の評定平均値が 4.0 以上の者 ＊各高等学校等からの推薦人数は、1校につき1名とする。

募 集 区 分	募集人員	出願資格及び要件
美術領域専攻	4	1. 子どもの造形教育ならびに美術・工芸に強い関心を持ち、同分野の専門的知識を活かして、将来、 小学校教員 になろうとする者 2. 芸術的表現に関して、個人やクラブ活動などで意欲的な活動が認められる者 3. 調査書の学業成績の全体の評定平均値が 3.8 以上の者 ＊各高等学校等からの推薦人数は、1校につき2名以内とする。
音楽領域専攻	4	1. 音楽に強い関心を持ち、同分野の専門的知識を活かして、将来、 小学校教員 になろうとする者 2. 調査書の学業成績の全体の評定平均値が 4.0 以上の者 ＊各高等学校等からの推薦人数は、1校につき1名とする。
体育領域専攻	10	1. 体育・スポーツ分野(保健を含む。)に強い関心を持ち、将来、学校教員になろうとする者 2. 学校体育で取り扱われている内容、及び本学の教育課程に対応する以下の運動種目において、優れた運動能力を有する者（全国規模の大会 ^(注1) への出場経験を有する者、又はブロック大会 ^(注2) にて、ベスト8、もしくは8位以上の競技成績を有する者） 出願可能運動種目： 器械体操、陸上競技、競泳、球技【ゴール型（バスケットボール、ハンドボール、サッカー）：ネット型(バレーボール、テニス〔ソフトテニスを含む。〕)：ベースボール型(ソフトボール、野球)】、 武道（柔道、剣道）、野外活動（スキー） 3. 調査書の学業成績の全体の評定平均値が 3.8 以上の者 （注1）全国規模の大会とは、インターハイ、国体及びそれらと同等以上の大会をいう。 （注2）ブロック大会とは、都道府県大会の上位チームもしくは上位の成績を得た個人が、近畿大会など、複数の都道府県からの代表チーム又は個人として競う大会をいう。 ＊各高等学校等からの推薦人数は、1校につき2名以内とする。

2. 選抜方法等

大学入試センター試験及び個別学力検査を免除し、以下の方法により選抜を行う。

〔教育学専攻、幼児教育専攻、発達障害教育専攻、国語領域専攻、社会領域専攻、英語領域専攻、数学領域専攻、理科領域専攻、技術領域専攻（A入試、B入試）、家庭領域専攻〕
 推薦書、調査書、教員志望動機書を参考資料として、小論文及び面接による選抜を行う。

〔美術領域専攻〕

推薦書、調査書、教員志望動機書を参考資料として、小論文、面接及び美術・工芸作品による選抜を行う。

当日は、作品持参（2点以内）を原則とする。

〔音楽領域専攻〕

推薦書、調査書、教員志望動機書を参考資料として、実技検査等及び面接による選抜を行う。

〔体育領域専攻〕

推薦書、調査書、教員志望動機書を参考資料として、体育・スポーツ業績調書、小論文、面接による選抜を行う。

第1次試験：体育・スポーツ業績調書による選抜を行う。

第1次試験の選抜結果は、11月22日付けの文書をもって通知する。

第2次試験：第1次試験の合格者に対し小論文及び面接を課し、第1次試験の成績と総合して選抜を行う。

3. 障がい等のある入学志願者の事前相談について

障がい等のある入学志願者で、受験上及び修学上の配慮を必要とする者は、令和元年9月27日（金）までに、本学入試課入試グループへ申し出ること。

なお、9月28日以降であっても、その状況によっては考慮できる場合があるので、申し出ること。

4. 出願期間

令和元年11月1日（金）から11月6日（水）まで

5. 出願について

- （1）国公立大学の推薦入試（大学入試センター試験を課す場合、課さない場合を含めて）へ出願できるのは、1つの大学・学部なので注意すること。
- （2）出身学校長から推薦入試（大学入試センター試験を課す場合、課さない場合を含めて）に推薦された志願者で、一般入試の受験を希望する者は、前期から1つ後期から1つの合計2つまでの大学・学部を選んで出願することができる。

6. 選抜期日

令和元年12月7日（土）

（体育領域専攻の第2次試験も、同日に実施する。）

7. 合格発表日

令和元年12月19日（木）（予定）

○ 地域指定推薦入試

京都府内の高等学校又は高等部を置く特別支援学校（以下、「高等学校等」という。）を令和２年３月に卒業見込みの者及び学校教育法施行規則第９３条第３項の規定に基づき平成３１年４月１日から令和２年３月３１日までに卒業又は卒業見込みの者で、将来京都府内の**小学校教育員**として地域に貢献しようとする強い意欲があり、出身学校長が責任をもって推薦できる者を対象として、入学定員の一部について、次のとおり大学入試センター試験及び個別学力検査を免除して地域指定推薦入試を実施する。

募集人員は、全専攻（教育学専攻、幼児教育専攻、発達障害教育専攻、国語領域専攻、社会領域専攻、英語領域専攻、数学領域専攻、理科領域専攻、技術領域専攻、家庭領域専攻、美術領域専攻（美術分野、書道分野）、音楽領域専攻、体育領域専攻）から２０名（出願要件Ａ：１０名程度 出願要件Ｂ：１０名程度）である。

１．出願資格及び要件

（１）出願要件Ａ（京都府北部地域）

次の①～⑤の全てに該当し、学校長が責任をもって推薦できる者。

なお、各高等学校等の推薦人数は、１校につき３名以内とする。ただし、各校が推薦できるのは１専攻につき１名とする。

- ①京都府北部地域（福知山市、舞鶴市、綾部市、宮津市、京丹後市、伊根町、与謝野町内）の高等学校等を令和２年３月に卒業見込みの者及び学校教育法施行規則第９３条第３項の規定に基づき平成３１年４月１日から令和２年３月３１日までに卒業又は卒業見込みの者
- ②**小学校教育員**を強く志望し、その適性を持つと学校長が判断する者
- ③将来、京都府北部の学校教員として地域に貢献しようとする意欲を有する者
- ④調査書の学業成績の全体の評定平均値が**４．０**以上の者
- ⑤合格した場合、志願書に記載の専攻に入学することを確約できる者

（２）出願要件Ｂ（京都府内〔出願要件Ａの京都府北部地域を除く〕）

次の①～⑤の全て、又は①～⑥の全てに該当し、学校長が責任をもって推薦できる者。

なお、各高等学校等からの推薦人数は、①～⑤の全てを満たす場合は、１校につき１名とし、①～⑥の全てを満たす場合は、更に２名以内の推薦を認める。ただし、各校が推薦できるのは１専攻につき１名とする。

- ①京都府内（出願要件Ａの京都府北部地域を除く）の高等学校等を令和２年３月に卒業見込みの者及び学校教育法施行規則第９３条第３項の規定に基づき平成３１年４月１日から令和２年３月３１日までに卒業又は卒業見込みの者
- ②**小学校教育員**を強く志望し、その適性を持つと学校長が判断する者
- ③将来、京都府内の学校教員として地域に貢献しようとする意欲を有する者
- ④調査書の学業成績の全体の評定平均値が**４．０**以上の者
- ⑤合格した場合、志願書に記載の専攻に入学することを確約できる者
- ⑥教育に関する専門学科に在籍する者

２．選抜方法等

大学入試センター試験及び個別学力検査を免除し、推薦書、調査書、教員志望動機書を参考資料として、小論文及び面接による選抜を行う。

3. 障がい等のある入学志願者の事前相談について

障がい等のある入学志願者で、受験上及び修学上の配慮を必要とする者は、令和元年9月27日（金）までに、本学入試課入試グループへ申し出ること。

なお、9月28日以降であっても、その状況によっては考慮できる場合があるので、申し出ること。

4. 出願期間

令和元年11月1日（金）から11月5日（火）まで

5. 出願について

- （1）国公立大学の推薦入試（大学入試センター試験を課す場合、課さない場合を含めて）へ出願できるのは、1つの大学・学部なので注意すること。
- （2）本学推薦入試との併願は可能であるが、出願書類及び検定料等は、別に提出すること。
- （3）地域指定推薦入試に合格した者は、推薦入試の合格者とはならない。
- （4）出身学校長から推薦入試（大学入試センター試験を課す場合、課さない場合を含めて）に推薦された志願者で、一般入試の受験を希望する者は、前期から1つ後期から1つの合計2つまでの大学・学部を選んで出願することができる。
- （5）出願要件A、Bとも、各高等学校等からの地域指定推薦入試への推薦人数は、教育学部推薦入試の各専攻ごとの推薦人数には含まれない。

6. 選抜期日

令和元年11月30日（土）

7. 合格発表日

令和元年12月5日（木）（予定）

平成31年度 京都教育大学教育学部入学者選抜実施状況

一般入試

募集区分		募集人員	志願者	受験者	合格者	倍率	入学者
前期日程	教育学専攻	16	39	38	16	2.4	16
	幼児教育専攻	9	21	21	11	1.9	11
	発達障害教育専攻	10	16	16	10	1.6	10
	国語領域専攻	11	31	29	14	2.1	14
	社会領域専攻	18	31	31	19	1.6	18
	英語領域専攻	16	62	61	17	3.6	16
	数学領域専攻	15	29	29	17	1.7	17
	理科領域専攻	21	63	59	23	2.6	23
	技術領域専攻	8	18	18	11	1.6	11
	家庭領域専攻	11	16	15	11	1.4	11
	美術領域専攻(美術分野)	9	23	22	10	2.2	10
	美術領域専攻(書道分野)	3	21	21	4	5.3	4
	音楽領域専攻	7	13	13	8	1.6	8
	体育領域専攻	15	30	28	16	1.8	16
	前期日程合計	169	413	401	187	2.1	185
後期日程	国語領域専攻	4	45	24	4	6.0	4
	英語領域専攻	4	31	16	4	4.0	3
	数学領域専攻	7	28	13	7	1.9	7
	理科領域専攻	7	41	27	7	3.9	6
	体育領域専攻	5	39	17	5	3.4	5
	後期日程合計	27	184	97	27	3.6	25
一般入試合計		196	597	498	214	2.3	210

注 1. 受験者には、他の国公立大学入学手続完了者を含まない。

2. 倍率は、受験者／合格者で表示。

推薦入試

募集区分		募集人員	志願者	受験者	合格者	倍率	入学者
教育学専攻		6	31	24	6	4.0	6
幼児教育専攻		4	32	31	6	5.2	6
発達障害教育専攻		4	26	24	5	4.8	5
国語領域専攻		4	17	16	6	2.7	6
社会領域専攻		12	26	25	13	1.9	13
英語領域専攻		5	25	25	5	5.0	5
数学領域専攻		7	27	26	9	2.9	9
理科領域専攻		13	30	26	13	2.0	13
技術領域専攻(A入試)		3	4	4	3	1.3	3
技術領域専攻(B入試)		2	1	0	0	—	0
家庭領域専攻		5	15	13	6	2.2	6
美術領域専攻(美術分野)		4	9	9	5	1.8	5
音楽領域専攻		5	18	18	5	3.6	5
体育領域専攻		10	27	19	10	1.9	10
合 計		84	288	260	92	2.8	92

注 1. 受験者には、地域指定推薦入試合格者を含まない。

2. 体育領域専攻の第1次試験合格者は19名。

3. 倍率は、受験者／合格者で表示。

地域指定推薦入試
出願要件A(京都府北部地域)

募集区分	募集人員	志願者	受験者	合格者	倍率	入学者
教育学専攻	10名程度	4	4	3	1.8	3
幼児教育専攻		4	4	1		1
発達障害教育専攻		3	3	2		2
国語領域専攻		1	1	0		0
社会領域専攻		1	1	0		0
英語領域専攻		0	0	0		0
数学領域専攻		0	0	0		0
理科領域専攻		4	4	3		3
技術領域専攻		0	0	0		0
家庭領域専攻		2	2	1		1
美術領域専攻(美術分野)		0	0	0		0
美術領域専攻(書道分野)		0	0	0		0
音楽領域専攻		1	1	1		1
体育領域専攻		1	1	1		1
合 計		21	21	12	1.8	12

注 倍率は、全受験者／全合格者で表示。

地域指定推薦入試
出願要件B(京都府内[出願要件Aの京都府北部地域を除く])

募集区分	募集人員	志願者	受験者	合格者	倍率	入学者
教育学専攻	10名程度	7	7	4	2.5	4
幼児教育専攻		3	3	2		2
発達障害教育専攻		0	0	0		0
国語領域専攻		1	1	0		0
社会領域専攻		2	2	1		1
英語領域専攻		3	3	0		0
数学領域専攻		2	2	1		1
理科領域専攻		6	6	1		1
技術領域専攻		1	1	1		1
家庭領域専攻		3	3	2		2
美術領域専攻(美術分野)		2	2	0		0
美術領域専攻(書道分野)		0	0	0		0
音楽領域専攻		0	0	0		0
体育領域専攻		2	2	1		1
合 計		32	32	13	2.5	13

注 倍率は、全受験者／全合格者で表示。

教育学部計

区分	募集人員	志願者	受験者	合格者	倍率	入学者
前期日程	169	413	401	187	2.1	185
後期日程	27	184	97	27	3.6	25
一般入試計	196	597	498	214	2.3	210
推薦入試	84	288	268	92	2.9	92
地域指定推薦入試	20	53	53	25	2.1	25
合 計	300	938	819	331	2.5	327

過去の入学者選抜実施状況

年度	募集人員	志願者	受験者	合格者	倍率	入学者
平成27年度	300	959	763	337	2.3	316
平成28年度	300	928	757	339	2.2	329
平成29年度	300	904	770	334	2.3	324
平成30年度	300	888	768	332	2.3	326

平成31年度 京都教育大学教育学部 入学者選抜試験（一般入試）

合格者の平均点・最高点・最低点

募集区分	募集人員	合格者	大学入試センター試験				個別学力検査等				総合得点			
			配点	平均点	最高点	最低点	配点	平均点	最高点	最低点	配点合計	平均点	最高点	最低点
前期日程	教育学専攻	16	16	950	697.0	779	653	400	281.3	329	1350	978.3	1062	945
	幼児教育専攻	9	11	950	709.0	779	659	400	307.4	348	1350	1016.4	1087	963
	発達障害教育専攻	10	10	950	686.8	753	621	400	279.0	315	1350	965.8	1068	869
	国語領域専攻	11	14	950	727.1	795	648	400	293.1	345	1350	1020.2	1107	973
	社会領域専攻	18	19	950	711.5	778	653	400	287.5	336	1350	999.0	1063	933
	英語領域専攻	16	17	950	694.7	738	651	400	188.5	258	1350	883.2	967	843
	数学領域専攻	15	17	950	706.0	768	654	400	263.9	340	1350	969.9	1056	914
	理科領域専攻	21	23	950	704.3	785	643	400	258.6	324	1350	962.9	1068	916
	技術領域専攻	8	11	950	596.8	649	545	400	255.7	312	1350	852.5	914	792
	家庭領域専攻	11	11	950	634.5	686	567	400	246.3	299	1350	880.7	942	839
	美術領域専攻(美術分野)	9	10	750	467.3	573	372	600	415.5	498	1350	882.8	1068	799
	美術領域専攻(書道分野)	3	4	750	426.3	...	...	600	502.5	...	1350	928.8	...	...
	音楽領域専攻	7	8	850	614.1	...	...	400	319.6	...	1250	933.8	989	894
	体育領域専攻	15	16	850	592.8	670	536	500	307.2	348	1350	899.9	1018	843
後期日程	国語領域専攻	4	4	950	681.8	...	...	600	382.8	...	1550	1064.5	...	...
	英語領域専攻	4	4	950	731.3	...	...	400	277.8	...	1350	1009.0	...	...
	数学領域専攻	7	7	950	690.3	...	...	300	186.3	...	1250	876.6	932	799
	理科領域専攻	7	7	950	699.9	...	...	400	284.3	...	1350	964.1	1048	915
	体育領域専攻	5	5	850	633.0	...	...	500	321.2	...	1350	954.2	991	886

注 当該募集区分の合格者が10名未満の区分については、大学入試センター試験と個別学力検査等の最高点・最低点は公表しない。
 当該募集区分の合格者が5名未満の区分については、大学入試センター試験、個別学力検査等及び総合得点の最高点・最低点は公表しない。
 なお、当該募集区分の合格者が1名の区分については、すべて公表しない。

平成31年度京都教育大学教育学部
志願者・入学者出身高等学校都道府県別調べ

	都道府県名等	志願者	入学者
1	北海道	5	0
2	青森県	2	1
3	岩手県	0	0
4	宮城県	2	0
5	秋田県	1	1
6	山形県	0	0
7	福島県	3	2
8	茨城県	1	0
9	栃木県	2	0
10	群馬県	1	0
11	埼玉県	1	0
12	千葉県	3	1
13	東京都	9	3
14	神奈川県	1	0
15	新潟県	2	1
16	富山県	6	1
17	石川県	8	0
18	福井県	26	11
19	山梨県	3	0
20	長野県	2	0
21	岐阜県	12	6
22	静岡県	13	5
23	愛知県	16	2
24	三重県	9	3
25	滋賀県	69	29
26	京都府	328	120
27	大阪府	170	59
28	兵庫県	91	25
29	奈良県	20	6
30	和歌山県	14	7
31	鳥取県	11	7
32	島根県	2	0
33	岡山県	16	3
34	広島県	17	6
35	山口県	7	0
36	徳島県	6	4
37	香川県	12	5
38	愛媛県	16	8
39	高知県	2	0
40	福岡県	8	2
41	佐賀県	2	0
42	長崎県	3	0
43	熊本県	4	4
44	大分県	2	1
45	宮崎県	1	0
46	鹿児島県	4	1
47	沖縄県	2	1
48	高卒程度認定試験等	3	2
49	在外教育施設	0	0
	計	938	327

	志願者	入学者
全国のうち京都府	35.0%	36.7%

平成31年度 京都教育大学教育学部
志願者・入学者の高等学校卒業年調べ

卒業年	志願者	入学者
平成31	830	290
30以前	105	35
その他	3	2
合計	938	327

平成31年度 京都教育大学教育学部
志願者・入学者の男女別調べ

性別	志願者	入学者
男	407	138
女	531	189
合計	938	327

令和2年度学生募集要項等の公表について

I. 公表時期

種 類	公表時期（予定）	備 考
大学案内	令和元年 6月下旬	—
入学者選抜に関する要項（本要項）	発 行 中	—
推薦入試学生募集要項	令和元年 7月下旬	※ホームページでのみ公表
一般入試学生募集要項	令和元年 10月下旬	※ホームページでのみ公表

※一般入試及び推薦入試では、インターネット出願による募集を行います。

募集要項は本学ホームページからダウンロードしてください。募集要項（冊子）の発行は行いません。

II. 請求方法

1. ホームページから請求する場合

本学ホームページに掲載のテレメール又はモバっちょにより、直接請求できます。

詳しくは本学ホームページ（→入試情報→資料請求）をご覧ください。

2. テレメールから請求する場合

（1）インターネット（パソコン・スマートフォン・携帯電話）又は自動音声応答電話をご利用ください。

インターネット （パソコン スマートフォン 携帯電話）	https://telemail.jp	QRコードからアクセス した場合は資料請求番号 の入力不要です。 
自動音声応答電話	I P 電話 050-8601-0101 （24 時間受付） ※一般回線電話からの通話料金は日本全国どこからでも3分毎に約12円です。	

（2）請求希望する資料番号（6桁）を入力してください。

資料名	資料請求番号
大学案内のみ	5 6 4 8 2 2
大学案内+入学者選抜に関する要項（本要項）	5 6 4 8 0 2
入学者選抜に関する要項（本要項）のみ	5 4 4 8 2 2

（3）あとはガイダンスに従って登録してください。

◆上記2の問い合わせ先

テレメールカスタマーセンター I P 電話 050-8601-0102

（受付時間9時30分～18時）

3. 大学情報センターの「モバっちょ」から請求する場合

(1) インターネット（パソコン・スマートフォン・携帯電話）をご利用ください。

インターネット （パソコン スマートフォン 携帯電話）	https://djcm-bj.jp/kyokyo-u3/	
--------------------------------------	---	---

(2) 請求できる資料、請求方法は移動後の画面の指示に従ってください。

◆上記3の問い合わせ先

モバっちょカスタマーセンター 電話 050-3540-5005

(受付時間平日10時～18時)

4. 郵送での請求

郵便番号、住所、氏名を明記し、**送料（ホームページ参照）**分の郵便切手を貼付した返信用封筒（角形2号 33cm×24cm）を同封のうえ、大学への送付用封筒の表に請求される年度・区分・資料名を朱書きし下記請求先に送付してください。

(例)「令和2年度 教育学部 入学選抜に関する要項+大学案内 請求」

5. 本学窓口での受領（各資料発行日以降受付）

平日の9時～17時（12時30分～13時30分は窓口休止）に、入試グループ④番窓口までお越しください。

※土曜日、日曜日、祝日、夏季一斉休業期間（8月15日～16日）及び年末年始（12月29日～1月3日）を除く。

◆上記4、5の問い合わせ先

〒612-8522 京都市伏見区深草藤森町1番地

京都教育大学 入試課 入試グループ

TEL 075-644-8161

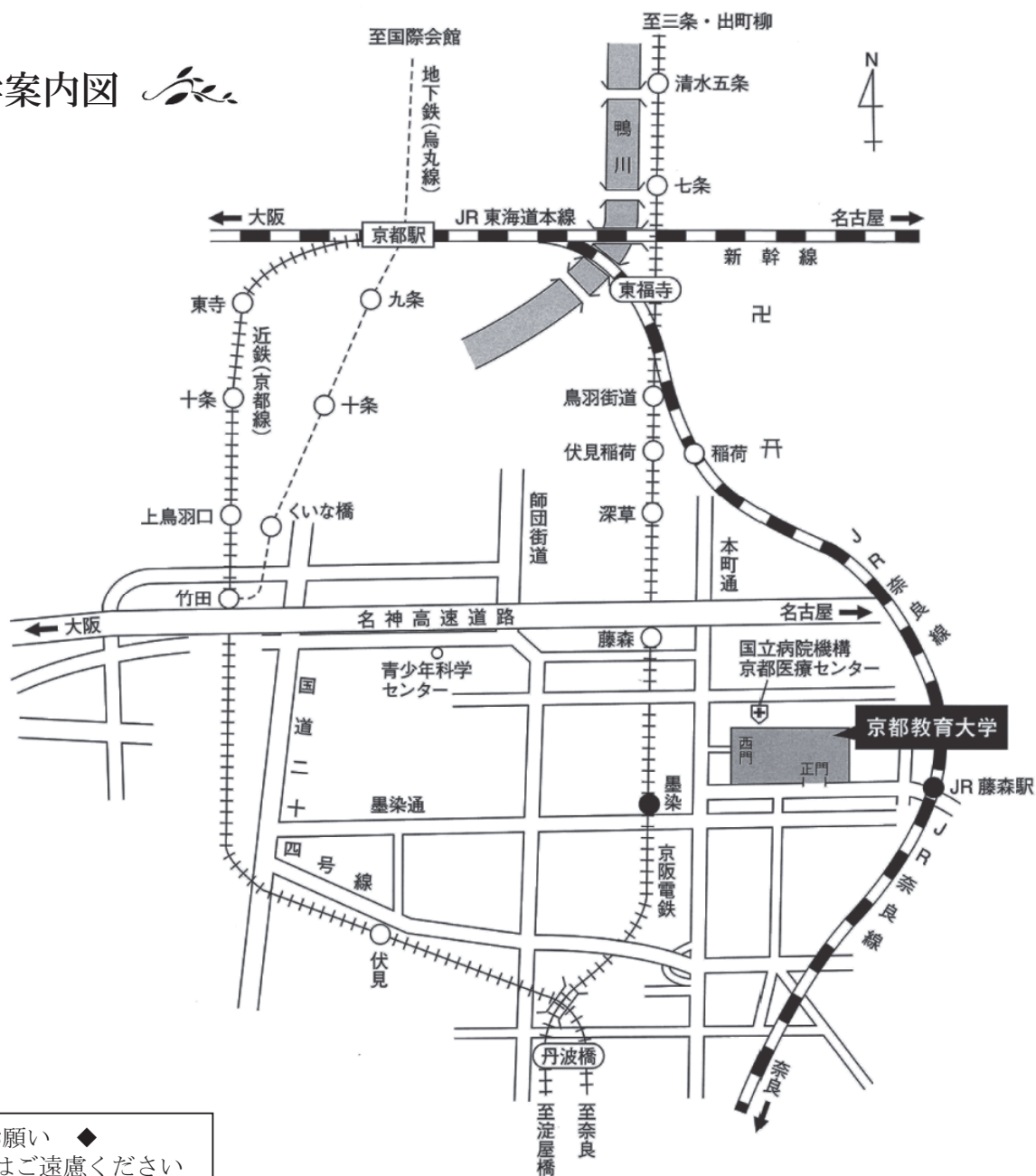
受付時間 9時～17時（12時30分～13時30分を除く。）

E-mail nyushi@kyokyo-u.ac.jp

※各資料発行前に請求があった場合には、予約受付となり、各資料発行後に送付することとなります。

※いずれの請求方法の場合も、申込み後の取り消しはできませんので、注意してください。

大学案内図



交通案内

○JR利用者

JR奈良線・JR藤森駅下車 徒歩3分

○京阪電車利用者

京阪・墨染駅下車 徒歩7分

○近鉄電車利用者

近鉄・丹波橋駅で京阪電車に乗り換え
墨染駅下車

京都教育大学 入試課入試グループ

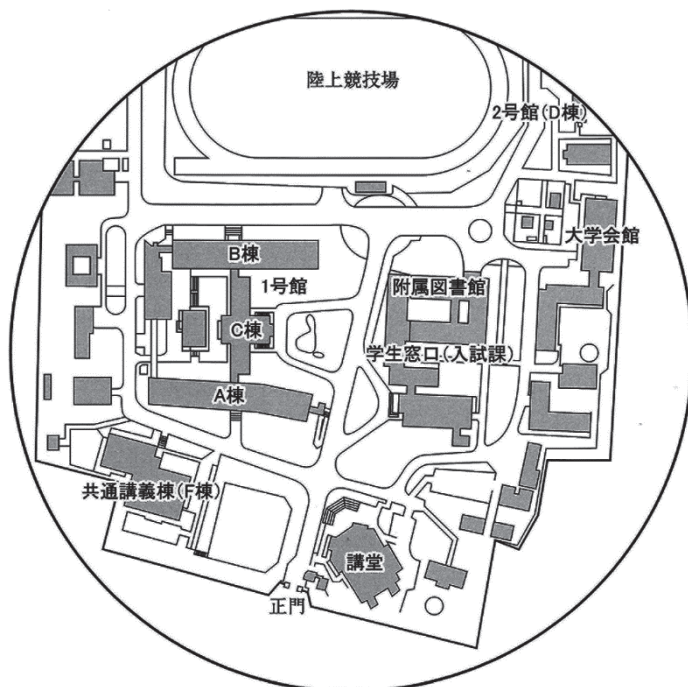
《所在地》

〒612-8522 京都市伏見区深草藤森町1番地

《電話番号》

075-644-8161

学内図





国立大学法人

京都教育大学

KYOTO UNIVERSITY OF EDUCATION

入試課 入試グループ